

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和6年第39週の発生動向

□ 全数報告の感染症（39 週までに新たに届出のあったもの）

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 4 例。
 3 類感染症：報告なし。4 類感染症：報告なし。
 5 類感染症：ウイルス性肝炎 1 例、クロイツフェルト・ヤコブ病 1 例、侵襲性肺炎球菌感染症 1 例
 梅毒 1 例。

	疾患名	報告 保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	60歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			80歳代	男	無症状病原体保有者	なし
			80歳代	男	肺結核	咳、痰、体重減少
		都城	20歳代	女	肺結核	発熱
5類	ウイルス性肝炎	高千穂	40歳代	男	EBV	全身倦怠感、嘔吐、発熱、肝機能異常
	クロイツフェルト・ヤコブ病	宮崎市	70歳代	女	古典型クロイツフェルト・ヤコブ病(CJD) 診断の確実度：ほぼ確実	進行性認知症、ミオクローヌス 錐体路症状、記憶障害、異常感覚、 上下肢痙攣、歩行障害
	侵襲性肺炎球菌感染症	宮崎市	70歳代	女	—	発熱、咳、菌血症、心膜炎、膝関節炎
	梅毒	都城	20歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	丘疹性梅毒疹、扁平コンジローマ

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 831 人(定点当たり 23.0)で、前週比 113%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は手足口病で、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、ヘルパンギーナであった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【新型コロナウイルス感染症】

報告数は 138 人(2.4)で、前週比 99%とほぼ横ばいであった。延岡(6.1)、都城(3.2)、日南(2.4)保健所からの報告が多く、年齢群別は 15 歳未満が全体の約 3 割を占めた。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

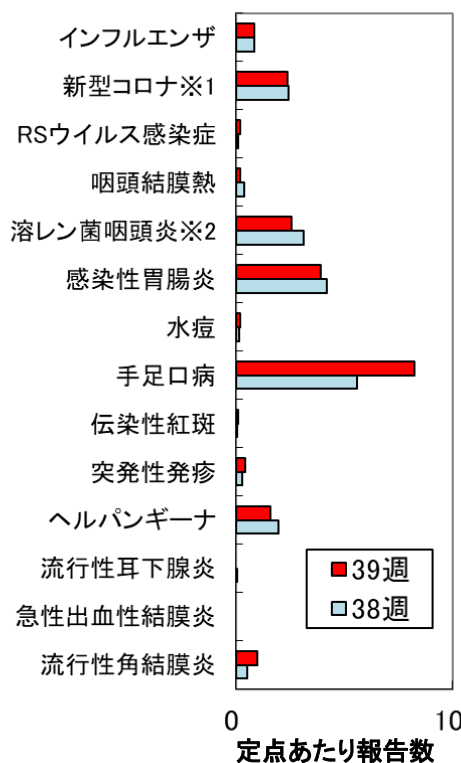
報告数は 92 人(2.6)で、前週比 81%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.4)の約 1.8 倍であった。日南(5.0)、都城(3.5)、宮崎市(3.4)保健所からの報告が多く、年齢群別は 4 歳から 7 歳が全体の約半数を占めた。

【手足口病】

報告数は 296 人(8.2)で、前週比 147%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.2)の約 3.7 倍であった。宮崎市(13.4)、延岡(10.0)、日南(8.7)保健所からの報告が多く、年齢群別は 1 歳から 4 歳が全体の約 7 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

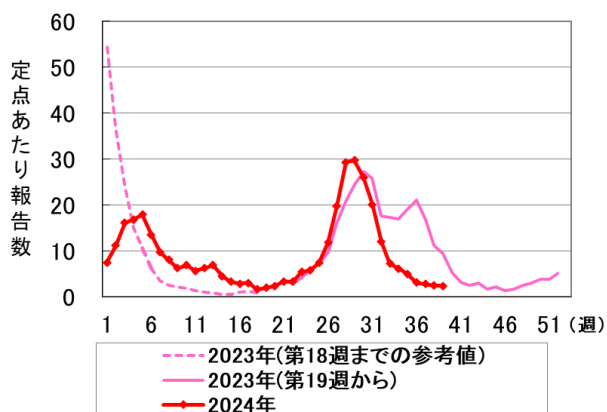
《前週との比較》



※1 新型コロナウイルス感染症

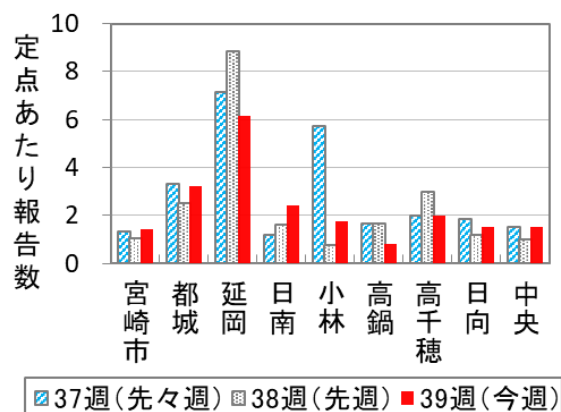
※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

新型コロナウイルス感染症 発生状況

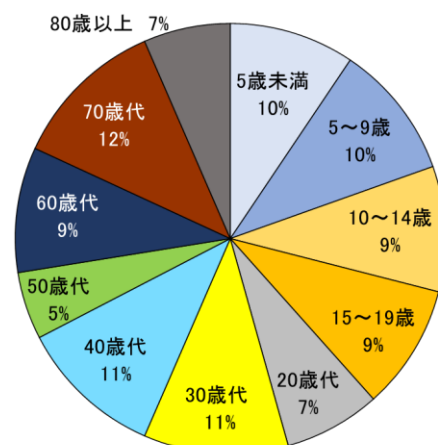


※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

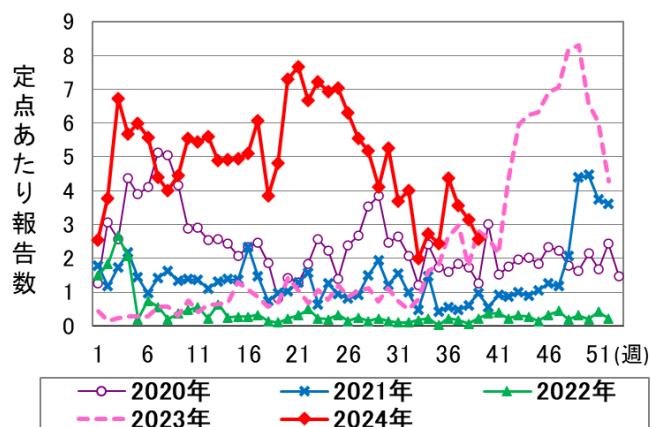
新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)



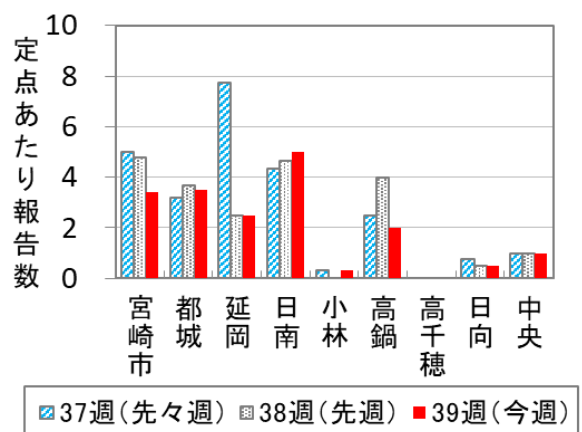
新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第39週)



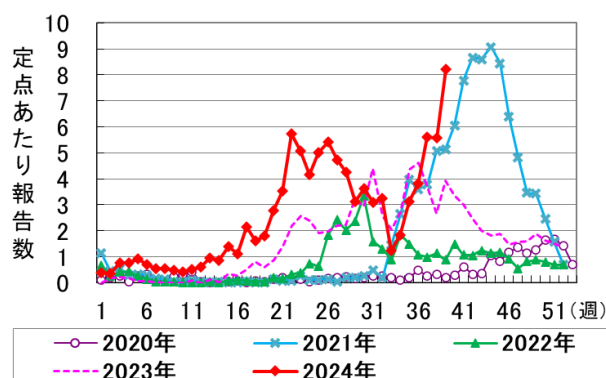
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 保健所別推移(3週分)

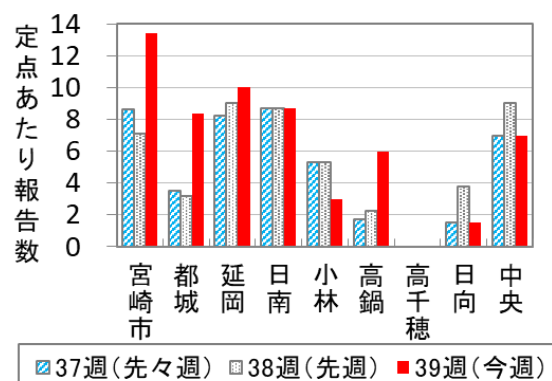


手足口病 発生状況



手足口病

保健所別推移 (3 週分)



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：宮崎市(5 例)、日向(2 例)、延岡(1 例)、高鍋(1 例)保健所から報告があった。年齢は5～9 歳が4 例、10～14 歳が3 例、15～19 歳が1 例、20 歳代が1 例であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	手足口病(13.4)
都城	手足口病(8.3)
延岡	手足口病(10.0)
日南	手足口病(8.7)
小林	なし
高鍋	手足口病(6.0)
高千穂	なし
日向	なし
中央	手足口病(7.0)

＊流行警報レベル開始基準値＊

・手足口病(5)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和6年9月30日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
EHEC(O157:H7 VT2)	20歳代	男	2024.09.10	胃腸炎(腹痛、水様性下痢、血便、嘔吐)、発熱	便	2024.09.24

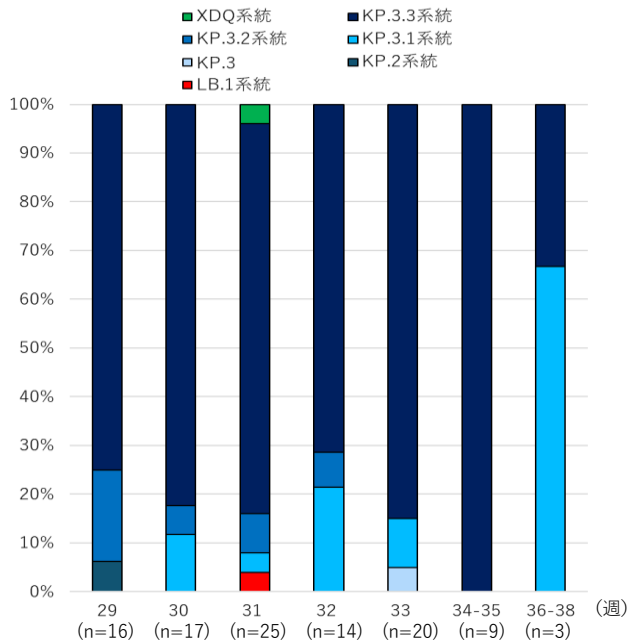
○20 代前半の男性から、腸管出血性大腸菌(EHEC)が検出された。EHEC 感染症は Vero 毒素 (VT) を産生、または VT 遺伝子を保有する EHEC の感染によって起こり、主な症状は腹痛、下痢および血便である。嘔吐や 38℃ 台の発熱をとともうこともある。VT 等の作用により血小板減少、溶血性貧血、急性腎障害を来して溶血性尿毒症症候群(HUS)を引き起こし、脳症などを併発して死に至ることがある (IASR Vol. 44 No. 5 (2023. 5))。EHEC 感染症は夏季に増加する傾向にあるが、例年秋から冬にかけても発生しており今後も注意が必要である。

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Rhinovirus	0～4歳	男	2024.07.17	尿路感染症、発熱、薬剤性肝障害	咽頭ぬぐい液	2024.09.24
SARS-CoV-2	0～4歳	男	2024.08.05	COVID-19	鼻汁	2024.09.17

□新型コロナウイルスゲノム解析結果情報（衛生環境研究所微生物部）

新型コロナウイルスゲノム解析週と検出系統の割合



○第 36-38 週は KP. 3. 1. 1 系統が約 67%、KP. 3. 3 が約 33%を占めている。

※KP 系統は JN. 1. 11. 1 の子孫株で、現在、日本、欧米で流行している。

ゲノム解析は概ね前週の検体を用いて実施している。なお、解析検体数が多い場合は割合の変動が大きくなる。

衛生環境研究所においては、県内医療機関の協力のもと、新型コロナウイルスの PCR 陽性となった検体を毎週収集し、ゲノム解析を実施している。

全国 2024 年第 38 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	191 例				
3類感染症	細菌性赤痢	3 例	腸管出血性大腸菌感染症	109 例	腸チフス	1 例
4類感染症	E型肝炎	9 例	A型肝炎	5 例	重症熱性血小板減少症候群	3 例
	デング熱	6 例	日本紅斑熱	5 例	マラリア	1 例
	ライム病	1 例	レジオネラ症	52 例	レプトスピラ症	2 例
5類感染症	アメーバ赤痢	9 例	ウイルス性肝炎	4 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	27 例
	急性脳炎	2 例	クリプトスポリジウム症	1 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	4 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	13 例	後天性免疫不全症候群	9 例	ジアルジア症	1 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2 例	侵襲性肺炎球菌感染症	16 例	水痘(入院例)	3 例
	梅毒	178 例	播種性クリプトコックス症	1 例	破傷風	2 例
	百日咳	105 例	麻しん	1 例		

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 90%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は特になく、減少した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎及びヘルパンギーナであった。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 21,400 人(4.4)で前週比 82%と減少した。宮城県(7.0)、岩手県(6.7)、新潟県(6.7)、茨城県(6.7)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 2 割を占めた。

手足口病の報告数は 24,298 人(7.8)で前週比 97%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(1.5)の約 5.2 倍であった。愛媛県(20.0)、富山県(17.6)、宮城県(16.1)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 5 歳が全体の約 7 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

疾病名		第38週	第39週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	49	50	7	2	13	22			4		2
	定点当り	0.84	0.86	0.44	0.20	1.86	4.40	0.00	0.00	2.00	0.00	1.00
新型コロナ ウイルス感染症	報告数	140	138	23	32	43	12	7	5	4	9	3
	定点当り	2.41	2.38	1.44	3.20	6.14	2.40	1.75	0.83	2.00	1.50	1.50
RSウイルス 感染症	報告数	4	7	2	5							
	定点当り	0.11	0.19	0.20	0.83	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	13	7	5					1		1	
	定点当り	0.36	0.19	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00
A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	報告数	113	92	34	21	10	15	1	8		2	1
	定点当り	3.14	2.56	3.40	3.50	2.50	5.00	0.33	2.00	0.00	0.50	1.00
感染性胃腸炎	報告数	151	141	34	35	2	12	25	10		17	6
	定点当り	4.19	3.92	3.40	5.83	0.50	4.00	8.33	2.50	0.00	4.25	6.00
水 痘	報告数	6	7	3	3			1				
	定点当り	0.17	0.19	0.30	0.50	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	201	296	134	50	40	26	9	24		6	7
	定点当り	5.58	8.22	13.40	8.33	10.00	8.67	3.00	6.00	0.00	1.50	7.00
伝染性紅斑	報告数	1	4	3				1				
	定点当り	0.03	0.11	0.30	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	10	16	6	5	1	2				1	1
	定点当り	0.28	0.44	0.60	0.83	0.25	0.67	0.00	0.00	0.00	0.25	1.00
ヘルパンギーナ	報告数	71	58	12	3	16	10	2	10		3	2
	定点当り	1.97	1.61	1.20	0.50	4.00	3.33	0.67	2.50	0.00	0.75	2.00
流行性耳下腺炎	報告数	2										
	定点当り	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性 結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	3	6	5	1							
	定点当り	0.50	1.00	1.67	0.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数	5	9	5		1			1		2	
	定点当り	0.71	1.29	5.00	0.00	1.00	0.00	0.00	1.00		2.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2024年 第1週 ～39週 保健所受理分)

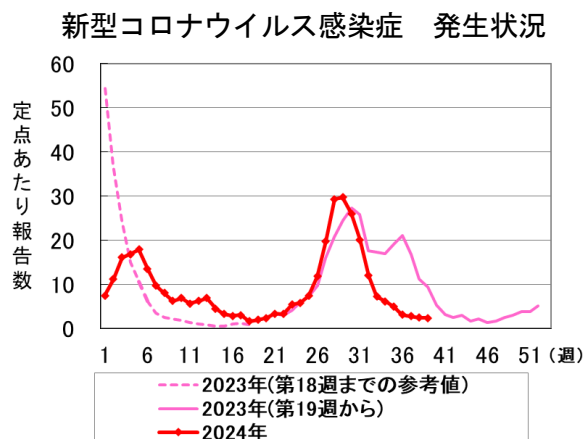
2類感染症	結核	85例(4)	
	腸管出血性大腸菌感染症	31例	
4類感染症	E型肝炎	2例	A型肝炎 1例 重症熱性血小板減少症候群 7例
	つつが虫病	14例	日本紅斑熱 9例 レジオネラ症 10例
5類感染症	アメーバ赤痢	3例	ウイルス性肝炎 2例(1) カルバペネム耐性腸内細菌感染症 4例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	4例(1)	劇症型溶血性レンサ球菌感染症 13例 後天性免疫不全症候群 2例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4例	侵襲性肺炎球菌感染症 13例(1) 水痘(入院例) 5例
	梅毒	118例(1)	播種性クリプトコックス症 3例 破傷風 2例
	百日咳	41例	

()内は今週届出分、再掲

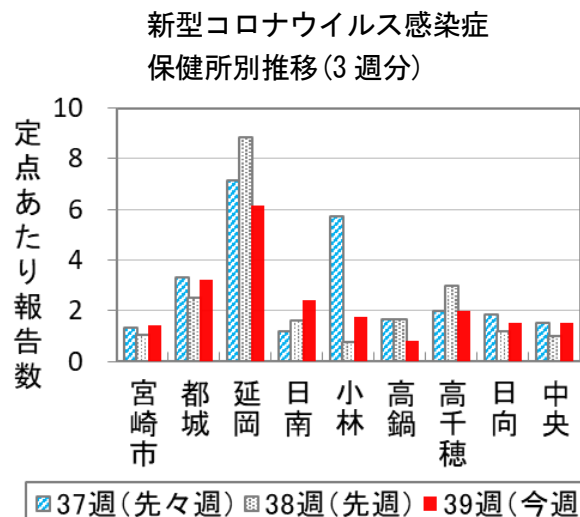
新型コロナウイルス感染症情報《県内第 39 週、全国第 38 週（再掲）》

□ 県内第 39 週 新型コロナウイルス感染症発生動向

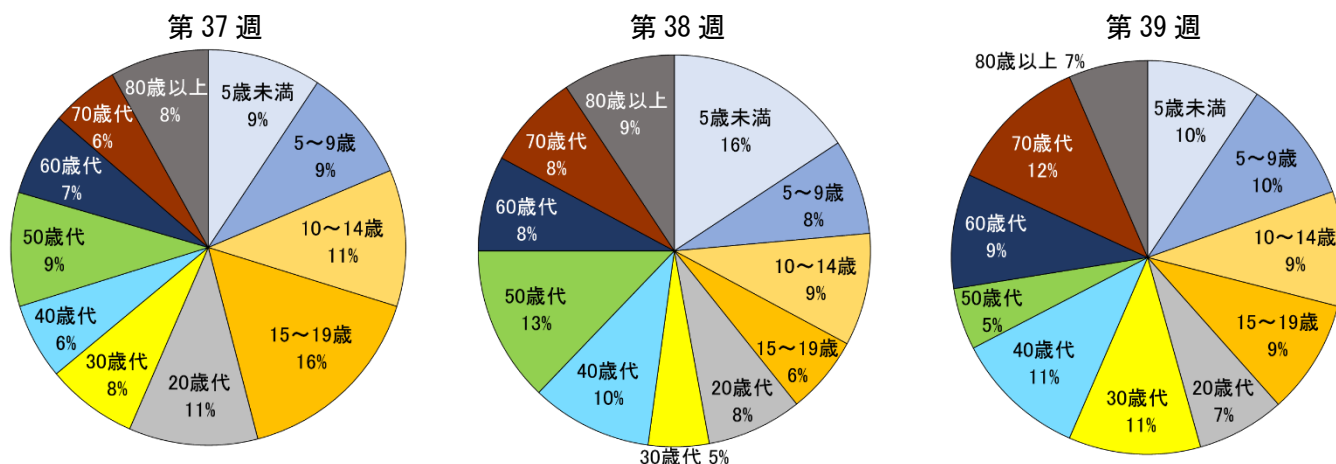
9 月 23 日～9 月 29 日までの 1 週間で 138 人(2.4)の報告があった。前週比 99%とほぼ横ばいで、延岡(6.1)、都城(3.2)、日南(2.4)保健所管内からの報告が多かった。



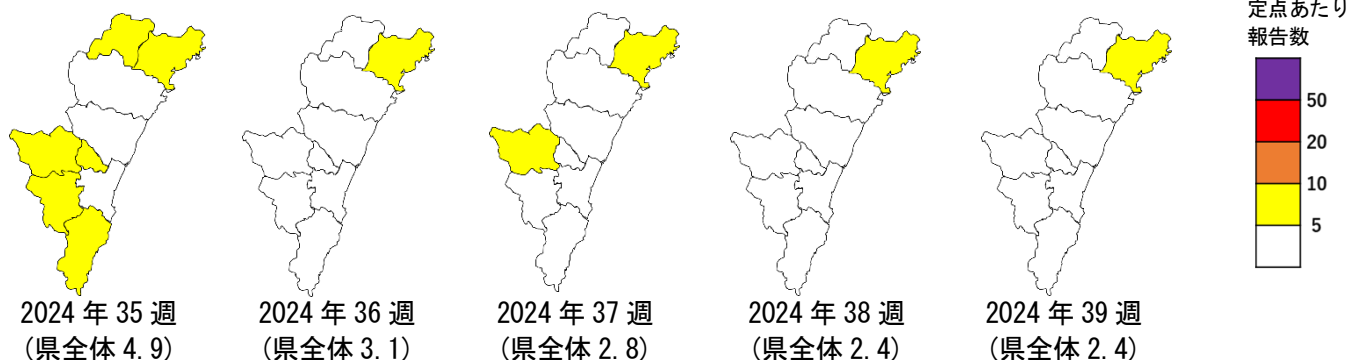
※新型コロナウイルス感染症の 2023 年第 1 週～第 18 週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値



新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ



保健所別新型コロナウイルス感染症流行マップ 2024 年第 35 週～2024 年第 39 週



* 県独自の基準によるもの

□ 全国第 38 週 新型コロナウイルス感染症発生動向

9 月 16 日～9 月 22 日までの 1 週間で 21,400 人(4.4)の報告があった。前週比 82%と減少で、宮城県(7.0)、岩手県(6.7)、新潟県(6.7)、茨城県(6.7)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 2 割を占めた。